



## 2年生環境科学科「理数探究」勉強会の報告！

2年生環境科学科の木村匠さんと鷹野祥希さんは、11月20日（月）に開催された「和歌山研究会の第7回勉強会」に参加し、東京大学名誉教授である神崎亮平先生の講演「自然と調和する科学技術～昆虫の知能はAIをこえるか？～」に参加しました。12月19日（火）、「理数探究」の授業内に、同級生に向けて講演の内容を紹介しました。



## KOYOサイエンスデイ「校内中間発表会」

12月22日（金）、1年生普通科「SSKECReI」の授業内で行っているSDGsに関する課題テーマ研究の校内中間発表会（KOYOサイエンスデイ）を実施しました。例年、学年内で実施していましたが、今年度はSGMの取組みの一環で2年生に参加してもらい、1年生の発表を聞き、課題研究の助言・指導をしてもらいました。発表者には、原稿を見ずに自分の言葉で聴衆者に伝えようとする姿勢が見られました。聴衆者は謙虚な姿勢で発表を聞き、積極的に質問する姿が見られ、良い機会になったと思います。生徒には赤色の付箋と青色の付箋を事前に配付し、赤色の付箋に良かった点、青色の付箋に改善点を書いて、発表者に渡してもらいました。冬休み明けからの授業でもらった付箋を参考にしながら、研究の改善や追加の研究を実施してってもらいたいと思います。2月に開催される向陽SSH成果発表会での普通科1年生の活躍が楽しみです！



## SSH先端科学講座（数学）

12月22日（金）、1年生環境科学科を対象に「SSH先端科学講座（数学）」を実施しました。『面白い（かもしれない）数のおはなし』と題し、和歌山大学教育学部准教授の北山秀隆先生にご講演いただきました。

イントロダクションとして数題のクイズから始まりました。徐々に難易度が上がるクイズにも生徒たちは怯むことなく果敢に挑戦し、我先にと解答を競っている様子でした。ラマヌジャン、ペレルマン、フィボナッチ、コラッツ、ソフィ・ジェルマンなどなど、様々な高名な数学者の名前が登場し、好奇心は大いに刺激されました。幾つかの未解決問題も紹介され、それに対して生徒たち自身で確認する作業も行われました。その作業を通じて、数学の研究は高校生にも可能で、研究材料は身近な数字の中に隠れているということ学びました。ワクワク感に満ちた45分×2の素敵な時間は、あっという間に過ぎ去りました。未来の数学者が、ここから誕生することを期待したいと思います！

